

ニュースリリース カテゴリー: [建設工事案件紹介]

2013年4月27日

お客様各位

福島県川内村「川内高原農産物栽培工場」が完成

多段式植物栽培ラックメーカーが福島復興の思いを込めて

三進金属工業株式会社はスチールラック生産国内トップメーカーの技術と立体駐車場等の建築事業の経験を生かして多段式栽培ラックを中心とした植物栽培工場の設計・製造を行っています。

このたび弊社が建設事業を請け負う完全閉鎖・人口光型の植物栽培工場「川内高原農産物栽培工場」が完成し、4月26日にオープニングセレモニーが執り行われました。式典で遠藤雄幸村長は「村の未来の農業の形として雇用を図りながら全国や世界に川内産の安心、安全な野菜を届けたい」とあいさつし、多数の報道陣が集まる中、関係者がテープカットを行いました。運営は、村と東京都内の総合食品流通会社が共同出資した「(株)K i M i D o R i (きみどり)」が担い、リーフレタス類の試験栽培を経て大型連休明けには本格栽培に入り、7月の初出荷を目指しています。

本植物工場では敷地内から汲み出される豊富な井戸水を使い、リーフレタス類、ハーブ類など種まきから収穫まで5～6週間かけて栽培します。要となる4つの栽培室にはそれぞれ植物の生育に適した蛍光灯照明とLED照明を備えた高さ5m、長さ10mにおよぶ2層の多段式栽培棚8基ずつを配置し、空調や送風・二酸化炭素濃度を制御された空間でフロート式の水耕栽培設備が日産8000株の収穫を支えます。



《オープニングセレモニー当日の建物全景》



《多段積層式栽培棚（蛍光灯照明）》

<施設概要>川内高原農産物栽培工場

- 用途：完全人工光型水耕栽培施設
- 敷地面積：5,009m²
- 建築面積：2,467 m²
- 栽培面積：4,324 m²
- 栽培予定作物：リーフレタス類、ハーブ類など
- 工場生産能力：8000株/日

- 施設内容：播種室、育苗室、多段積層式栽培室×4（蛍光灯照明2室、LED照明2室）、洗浄室、殺菌室、加工室、包装室（放射能測定工程含む）、冷蔵室、他
- 安全性確保：全株は放射線量を測定検査して出荷
- 今後の予定：試験栽培を経て、5月中旬から本格栽培を開始し、7月上旬に初出荷

<本件に関するお問い合わせ>

広報担当者名：商品・販売企画課 長谷川 Tel:072-436-0821 Fax:072-436-0829



《遠藤村長ご挨拶》



《関係者によるテープカット》



《くす玉割り》



《多段積層式栽培棚（蛍光灯照明）》



《植物栽培状況》



《多段積層式栽培棚（LED照明）》



《放射能測定器》